

# 香美町 ならではの 教育の挑戦

●問い合わせ先 町教育委員会こども教育課

## 幼児期での「学びの芽生え」の確立に向けて ②

町教育委員会では「ふるさとに学び 夢や志を抱き ふるさと香美を大切に作る人づくり」を基本目標に、さまざまな取組を行っています。

人格形成の基礎を培う幼児期に、自己の成長の原点である町内の自然や文化、伝統に、遊びや体験を通して触れることで、ふるさとをしっかりと心に刻みます。

そして、後に続く小学校、中学校生活での更なる体験学習につなげることで、「ふるさとのよさ」を伝えていきます。

### おじろの森のこども園～小代認定こども園～

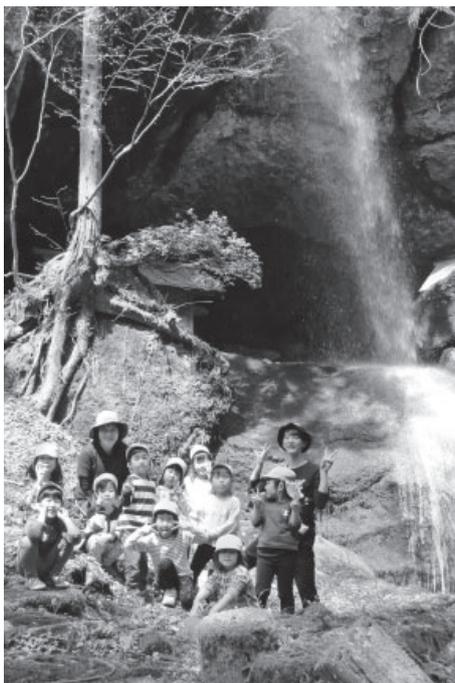
小代認定こども園の今年のテーマは「ふるさとに遊ぶ」。ふるさと小代を子どもたちの脳裏に焼き付けたいという思いから、ふるさと巡りとふるさと体験を行いました。

園舎の裏山は、まさしく子どもたちの絶好の遊び場所。いろいろな木や草、花が咲き乱れ、たくさんの昆虫が生きた教材として子どもたちの目に飛び込んできます。

秋には、柿をとり、栗を拾い、山芋を掘ってみんなで食べました。渋柿をつるして作った干し柿は最高のおやつ。



▲園舎の裏山にて



▲吉滝にて

「小代といえばここ」という場所。県内で一番大きな小長<sup>こながたわ</sup>迫の大トチの木や裏見の滝で有名な吉滝、日本の棚田百選の一つであるうへ山の棚田を踏破しました。

また、今年15年ぶりに開通した国道482号を通過して、生まれて初めての小代渓谷を散策しました。

子どもたちは五感で小代の自然を感じ、味わい、その美しさや不思議さに気づき、自然体験の中から自発的で主体的な遊びを通じて、いろいろな形で感性を育みました。



▲うへ山の棚田にて



▲小代渓谷を散策する子どもたち